

ライオンのナナについて

日頃は、小諸市動物園にお越しいただき、ありがとうございます。

当園の人気者「ライオンのナナ」の状況について、この間ご心配の声をいただいておりますので、あらためまして「ナナ」の状況について、お知らせいたします。

ナナは、今年で 23 歳を迎え、人間に換算すると 90 歳を超える年齢となりました。高齢のため、以前のように動き回ることが少なくなり、獣舎で寝て過ごすことが多くなりました。

ナナの巻き爪について、心配する声が寄せられることがありますが、ナナの爪については、若いときは自身で爪砥ぎを行い、巻き爪となることがありませんでしたが、高齢となるにつれ爪砥ぎも行わなくなり、現在のように伸びてしまいました。ナナは、巻き爪になりやすい体質であることも起因しています。

また、令和 2 年頃まで行っていたエサを使い立たせることで前足を獣舎の柵に掛けさせて、飼育員が爪を切る方法も、ナナが立ち上がることをしなくなったため、できない状況となりました。

飼育員も爪を切ることを試みましたが、ナナが足を引いてしまうなどにより切ることができませんでした。

以前より、爪を切る方法等について、ライオンを飼育している動物園の獣医師や当園でお世話になっている獣医師に相談をしましたが、ナナが高齢であり麻酔を使用して爪を切る方法については、昏睡から目覚めない場合があるため、非常に難しいとの見解を受けました。

ナナの今後については、獣医師の見解から麻酔を投与して爪を切ることは、あまりにもリスクが大きいため、実施することは難しい状況です。今後は、ナナの状態を見守りながら、投薬による治療を続け飼育を行う所存です。

皆様には、ご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。

令和 7 年 6 月 10 日

小諸市動物園 園長

小 泉 俊 博